

私は今日の花の日着飾をする前は「お年寄りの人とどんな話したらいいんやろ...とか、どんな風に自分から話しかけたらいいんだろ...と悩んでました。  
おばあさん明るくてニコニコした笑顔で私達を迎えてくださった時とてもうれしかったです。  
私がお花と手紙を渡した方は96歳のおばあさんでした。おばあさんは足がもう動けなくなっているし、耳は右耳に大きな声ではっきりいえないと聞かなくて教えていただきました。私は、そのおばあさんの右にたつて右耳にむかっているように話したり、またおばあさんのお話を聞いたたりしました。その中で一番印象的なのは私が「長生きしてくださいね。お会いできてよかったです。」と言った時に「ありがとうございます」と言ってもらえた時です。やっぱり人から「ありがとう」と言ってもらえると、とてもうれしくなります。  
今日は、とても良い経験になりました。  
また、このような事をしていきたいと思います。

今日、デパートに行き、お花を、感じたことがたくさんありました。

→目は、よるこんで、お花をたいてお花、たなというこで、です。下手ながら一生懸命うぐったゆりの花、友達と、いろいろ話しながら、決めた聖歌、それだけの思いをのせて歌った。お花は咲く、どのおも、すごく、よるこんで下さって。

一生懸命やっておかしたと思いました。

→目は、同じおじいちゃん、おばあちゃんでも一人一人、お花がうんだなというこです。

私はおじいちゃん、おばあちゃんというこ、

いつもニコニコして、ありがとう、ありがとうというこ、何か感謝しているイメージです。

私の祖父もそうなので...

しかし、中には、はずかしくて、なかなかありがとうといえない人や、人みじりで、一言も話さずお花をくれた人もいました。それが悪いといいたいのではなくて、私の中のおじいちゃん、おばあちゃんイメージをくわがえた瞬間でした。

皆ちがって、皆いい、その言葉の意味をしみじみ

感じることができました。